

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月26日

協議会名： 南房総・館山地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
JRバス関東株式会社	南房州本線	・令和7年4月より交通系ICカード決済を導入したほか、イベント開催時に臨時バス運行を行い、利用者サービスの向上を図った。 ・運賃改定を実施し収支改善図った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	A 【目標】: 収支率を1%改善させる。(R6年度収支率36.7%) 【効果達成状況】: 前年度に比べて、13.27%改善し、50.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】: ・運行の見直しによる増収・動力費などの減少による経費削減	・R7年度にICカードを導入したことから、利用促進を図るとともに、自治体との連携を強化し、利用者増を目指したイベントへの参加や、地域のニーズに応じた運行改善に取り組んでいく。
日東交通株式会社	館山鴨川線	鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】: 収支率を1%改善させる。(R6年度収支率33.1%) 【効果達成状況】: 前年度と比べて、収支率は3.09%悪化し、30.0%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】: 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	引き続き、鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行うほか、運賃改定を実施し、収支改善を目指す。
日東交通株式会社	館山市内線	鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行った。	A 計画通り事業は適切に実施されている。	C 【目標】: 収支率を1%改善させる。(R6年度収支率33.2%) 【効果達成状況】: 前年度と比べて、収支率は1.03%悪化し、32.2%となった。 【目標の達成状況の要因(分析)】: 利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が増加となった。	引き続き、鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行うほか、運賃改定を実施し、収支改善を目指す。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月26日

協議会名:	南房総・館山地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>南房総・館山地域公共交通計画(令和3年8月～令和8年3月)の基本理念: 「地域住民の生活を守り、地域の活性化を図る社会基盤となる圏域一体型の公共交通ネットワークの実現」</p> <p>上記を踏まえた幹線系統維持の目的・必要性: 地域の幹線系統となる、「南房州本線」、「館山鴨川線」、「館山市内線」は、交通結節点である館山駅から、市域をまたいで放射状に運行しており、地域住民の通勤、通学、通院などに利用される生活交通路線となっている。一方で、当地域は少子高齢化や人口減少が著しく交通事業者の運営努力や自治体の運営補助のみでは路線の維持が難しく、地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する必要がある。</p>

令和7年度 千葉県における地域公共交通確保維持改善事業

陸上交通
地域間幹線系統

協議会名・補助対象事業者名

南房総・館山地域公共交通活性化協議会
ジェイアールバス関東株式会社

系統名

南房州本線

事業の目的・必要性

- 館山駅等交通結節点へのアクセス、沿線観光施設や宿泊施設へのアクセス
- 医療機関への通院
- 館山駅から千葉、東京方面への通勤
- 房南学園等への通学

事業の概要・目標・効果

- 路線名 南房州本線
- 起点、経由地、終点 館山～安房神戸～安房白浜
- 系統キロ 19.9km
- 運行回数 12回／日（平日13.0回、土日祝11.0回）
- 目標・効果 令和6年度と比較して収支率1%以上改善
- 利用促進・生産性向上の取り組み
スマホ1日乗車券・回数券の販売等により、当該路線の利用促進を図った。

●直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員(人)	86,589	75,159	72,629
経常収支(円)	▲43,808,263	▲58,210,105	▲42,929,897
収支率(%)	44.1	36.7	50.0
平均乗車密度(人)	4.0	3.5	3.7
補助金額(千円)	9,613	8,690	11,561

目標・効果の達成状況

【達成状況】

前年度に比べて、13.27%改善した。

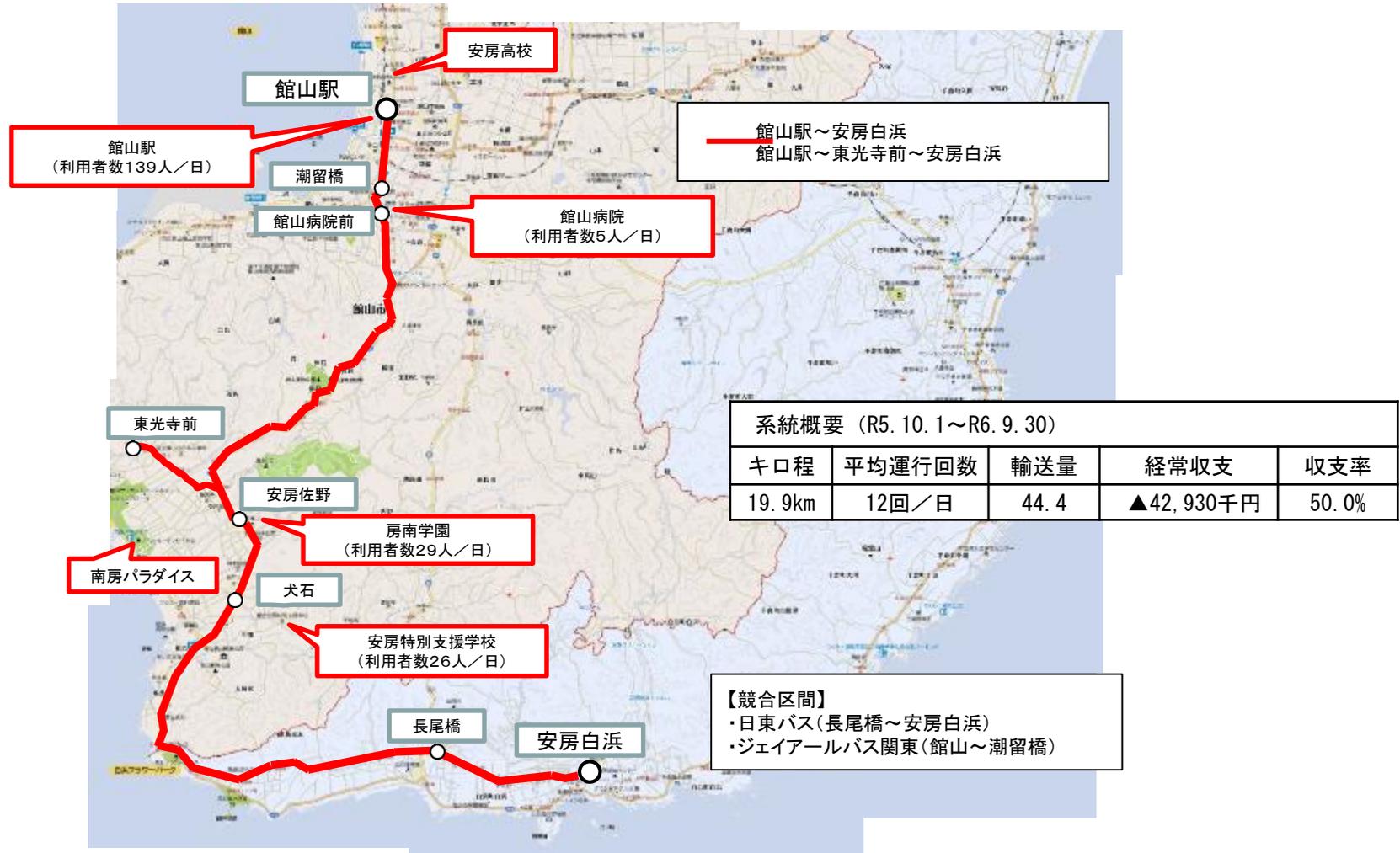
【目標の達成状況の要因(分析)】

- ・運行の見直しによる増収
- ・動力費などの減少による経費削減

今後の改善点

- ・R7年度にICカードを導入したことから、利用促進を図るとともに、自治体との連携を強化し、利用者増を目指したイベントへの参加や、地域のニーズに応じた運行改善に取り組んでいく。

事業実施区域



令和7年度 千葉県における地域公共交通確保維持改善事業

陸上交通
地域間幹線系統

協議会名・補助対象事業者名

南房総・館山地域公共交通活性化協議会
日東交通株式会社

系統名

館山鴨川線

事業の目的・必要性

- 亀田病院、安房地域医療センター等への通院
- 沿線高校への通学
- 館山いちご狩りセンター等観光施設へのアクセス
- 館山駅・安房鴨川駅へのアクセス

事業の概要・目標・効果

- 路線名 館山鴨川線
- 起点、経由地、終点 館山駅～鴨川駅東口～亀田病院
- 系統キロ 33.9km
- 運行回数 5.6回／日(平日6.0回 土日祝日4.0回)
- 目標・効果 令和6年度と比較して収支率1%以上改善
- 利用促進・生産性向上の取り組み
タウン誌へ路線情報を掲載
自治体と協力してバスの乗り方教室を開催

●直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員(人)	36,074	40,787	41,498
経常収支(円)	▲31,560,167	▲33,748,822	▲41,209,516
収支率(%)	31.9	33.1	30.0
平均乗車密度(人)	2.6	3.1	3.1
補助金額(千円)	3,681	3,477	5,092

目標・効果の達成状況

【達成状況】

前年度と比べて、収支率は3.09%悪化した。

【目標の達成状況の要因(分析)】

利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が增加となった。

今後の改善点

鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

事業実施区域

館山鴨川線 路線図

- 【競合区間】
- ・ 自社 鴨川市内線
(仁右衛門島入口～誕生寺入口)
 - ・ 鴨川中学校スクーバス (お花畑～旧太海小学校)



系統概要 (R6. 10. 1～R7. 9. 30)				
キロ程	平均運行回数	輸送量	経常収支	収支率
33. 9km	5. 6回／日	15. 1	▲41, 210千円	30. 0%

令和7年度 千葉県における地域公共交通確保維持改善事業

陸上交通
地域間幹線系統

協議会名・補助対象事業者名

南房総・館山地域公共交通活性化協議会
日東交通株式会社

系統名

館山市内線

事業の目的・必要性

- 館山駅周辺の病院・亀田ファミリークリニック等医療機関への通院
- イオンタウン館山等の商業施設へのアクセス
- 富浦小学校、沿線高校への通学
- 館山駅・道の駅とみうら枇杷倶楽部等交通結節点へのアクセス

事業の概要・目標・効果

- 路線名 館山市内線
- 起点、経由地、終点 館山航空隊～館山駅前～なむや
- 系統キロ 16.8km
- 運行回数 14.6回／日(平日 16.5回 土日祝日11.0回)
- 目標・効果 令和6年度と比較して収支率1%以上改善
- 利用促進・生産性向上の取り組み
タウン誌へ路線情報を掲載
自治体と協力してバスの乗り方教室を開催

●直近3ヶ年の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
輸送人員(人)	87,518	83,276	91,597
経常収支(円)	▲37,018,806	▲43,688,497	▲51,927,257
収支率(%)	38.6	33.2	32.2
平均乗車密度(人)	2.2	2.1	2.4
補助金額(千円)	5,509	5,188	5,080

目標・効果の達成状況

【達成状況】

前年度と比べて、収支率は1.03%悪化した。

【目標の達成状況の要因(分析)】

利用者が増えた事で収益は増えたが、物価高騰の影響が大きく燃料費・車両修繕費・車両購入費など費用の部分が增加となった。

今後の改善点

鉄道のダイヤ改正にあわせた、バスのダイヤ改正の検討や、利用者ニーズに沿った運行計画の検討を行う。

